

# やんばらあ〜わっと 2014年1月 第26号

## 2013年度全国自立生活センター協議会九州ブロック研修会

さ じゅうにがつ にち かごしまけんかごしま  
去る 1 2 月 2,3 日に鹿児島県鹿児島

し きゅうしゅう たいかい  
市にて J I L 九州ブロック大会が

かいさい こんかいはじ きゅうしゅう  
開催されました。今回初めて九州

けんしゅうかい さんか  
ブロック研修会に参加させてもらうことにな



ひとたち あ みな かつどう けんしゅうかい じょうほう  
り、なじみの人達と会えること、皆がどんな活動をしているのか研修会での情報

こうかん こうりゅう たい たの きたい けんしゅう のぞ  
交換や交流に対する楽しみを期待し、研修に臨みました。

にちかん けんしゅうについて ひつよう ひと じりつ  
2 日間の研修日程ではパネルディスカッション療ケアが必要な人たちの自立について

た かくち じりつせいかつ じっせんほうこく なかま だい どう  
て) 他、各地での自立生活の実践報告、仲間づくりと題したグループワーク等が

おこな  
行われました。

なか き ひ じりつせいかつ  
中でもとりわけ気を引いたのは自立生活セ

きたみ わたなべてつや はっぴょう  
ンター北見の渡辺哲也さんの発表でし

わたなべてつや しんこうせい なんびょう  
た。渡辺哲也さんは進行性の難病

ことば  
で言葉やジェスチャーでのコミュニケーションができ



じりつせいかつ なか じぶん おも  
なくなってしまったのですが、自立生活の中でコミュニケーションは、自分の思いやりたいて

つた ため ふかけつ ひとまか せいかつ おく  
とを伝える為に不可欠なものとしてとらえており、人任せにしない生活を送るため、

ごじゅうおんひょう つか いちじ く あ ことば ほうほう ひょう  
五十音表を使って一字ずつ組み合わせ、言葉にしてゆく方法をとっていました。表

も ある わたなべつや かいじょしゃ あたま なか ひょう かいじょ  
を持ち歩くのではなく、渡辺哲也さんと介助者の頭の中には表があり、介助

しゃ くだり よ わたなべつや  
者が「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」…と行を読みあげながら、渡辺哲也さんのアイコンタ

はつ ことば よ と と だんじょう  
トで発したい言葉を読み取っていくコミュニケーションを取っていました。壇上でとてもスピーディ

ーにコミュニケーションをとる わたなべつや かいじょしゃ と どももぬ おどろ  
きにコミュニケーションをとる渡辺哲也さんと介助者のやり取りに度肝を抜かれる驚き

かいまみ しんらいかんけい かんしん たが な かんたん  
と、そこに垣間見える信頼関係には感心しました。互いに慣れてしまえば簡単なも

はな もじ と たんごは よそく さら の  
のだと話していましたが、2,3文字くみ取れば単語(予測して更にスピードに乗ってやり

と でき つ かてい けわ そうぞう じぶんじしん  
取りが出来る、そこにたどり着くまでの過程は険しかったものだろうと想像しながら、自分自身

ことば むづか かた たい あたら  
も言葉やジェスチャーでのコミュニケーションが難しい方に対して新しいコミュニケーション

しゅだん かんが おも  
手段を考えていければなあと思いました。

じりつせいかつ いがい かんれんきかん れんけい  
パネルディスカッションでは、自立生活センター以外の関連機関と連携してゆくの

ひつよう かんが  
必要なものについて考えさせられました。

じりつせいかつ じっせんほうこく おのおの  
自立生活の実践報告では、各々の

じりつ たい おも こんご はな  
自立に対する思いや、今後についてが話さ

じりつ じりつ くち  
れました。自立、自立ってよく口にするし、

わたし まわ しぜん つか ことば  
私たちの周りではごく自然に使う言葉だ



かんたん たんじゆん かんじ もじ ひょうげん  
けど、簡単なものでも単純なものでもない。漢字2文字で表現されるけど、それに

たい おも じゆうにんという おくふか あらた かん  
対する思いは十人十色でとても奥深いものだと改めて感じました。

こんかい けんしゅう たん とうじしゃ たちば かいじょしゃ たちば そくめん  
今回の研修では、単に当事者の立場、介助者の立場とどちらかの側面だけで

たが こんざい じょうきょう ふく たちば かん  
なく、互いが混在した状況を含めた立場というものを感しました。

じりつ たい おも はかし おも ほんにん ささ ひと  
自立に対する思いは計り知れない。その思いをかなえるのは、本人、支える人たち、

しゃかい なかま いちれん な た しょう ひと  
社会とのかかわり、仲間。一連するつながりで成り立つんだと。障がいがある人もない

ひと こんざい しゃかい たが ささ じっかん  
人も混在する社会。インクルーシブって互いが支えあうものなんだと実感する

けんしゅうかい  
研修会でした。

## オーストラリアと日本の福祉の違い

こんかい ほうじん ども い  
今回、NPO法人共に生きるネットワーク

まなびやー オーストラリア「土の宿」主任スタ

えとうゆうこ まね ふくし  
ツフ衛藤優子さんを招いて、福祉におけるオ

にっぽん ちが とも まな ば  
ストリアと日本との違いを共に学ぶ場と

こうえんかい かいさい  
して講演会を開催することになりました。

こうえん もくてき にっぽん かいご けいけん だいがく  
講演の目的は、日本における介護スタッフとしての経験とオーストラリアの大学で

まな かんごがく りょうこく かいご かんご ふくし ちが ひかく じぶん す  
学んだ看護学から、両国の介護、看護、福祉の違いを比較し、これからの自分らの任



ちいき しゃかい しょう しゃ りそう ふくし あ かた  
む地域から社 会における 障 がい者 への理想とされる福祉サービスの在り方をどのように

けんとう あゆ とも まな ば おも おこな  
検 討し 歩 んでゆくのか、共に 学 びあう場となればと思 い 行 いました。

さんか なか たん ないよう よ  
参加する 中 で 単 なるサービス内 容の良し

あ みくら ひかいごしゃ  
あ 悪しを見比べるためのものではなく、被介 護者

およ かいご かなか ひと たようせい  
及 び介 護に 関わるすべての人の多様 性

にんしき かくごじん あ ふくし  
を認 識し各個人のニーズに合わせた福祉サ

ひつようせい かんが  
ービスの必 要性を考 えられたらいいかなと

おも さんか かた しょう  
思 います。参加してくれた方は、障 がい

とうじしゃ みんせいいいん ふくしかんけい  
当事者や民 生委員など福祉 関係

きかん かた き  
機 関の方などが来ていました。



こうえんかい にっぽん い じりつせいかつ  
講 演会では、日 本からオーストラリアにスタディーツアーをしに行った自立生 活センターイ

さきはまのりみ みなみ げんじょう こうきょうこうつうきかん の  
ルカの崎 浜紀美さんから 南 オーストラリアの現 状で、公 共交通機 関に乗ったり、

じりつせいかつ ひと いえ ほうもん なか とうじしゃ せいかつ  
自立生 活している人の家を訪 問したりする中 で、当事者の生 活がどのようになって

つた いただ せいかつ でんどう せつび しんか  
いるのかを 伝 えて 頂 きました。その生 活はカーテンも電 動になっており設 備は進化して

じっかん  
いと実 感させられたそうです。

のち えとうゆうこ こうわ なか にっぽん ちが かいじょ  
この後 にメインの衛藤優子さんの講話の中 で、オーストラリアと日 本の違 いは、介 助と

じかん につぼん しせつ はい かた しせつ しょくいん  
時間のルーズさがあり、日本では施設に入っている方は、施設の職員によって

にちじょうせいかつ しょくじ にゆうよく しょうとう じかん さまざま こと き  
日常生活のプランが、食事や、入浴、消灯の時間など様々な事が決められて

いるのですが、オーストラリアでは、たどうせいしょう しせつ しょう どうじしゃ おも  
多動性障がい施設の障がい当事者が思うまま

しょくじ にゆうよく せいかつ おこな ほんにん とら  
に食事や入浴などの生活リズムで行っているそうです。本人のニーズにあった捉え

かた おも せいかつ き  
方で主に生活していているのだなと気づかされました。

いりょう かん こと つうじょう  
あと、医療に関する事は通常、ガンや

いた はっせい びょうき いしゃ  
痛みを発生する病気であれば、医師の

しじ ちゅうしゃ どうじ  
指示によってモルヒネを注射しますが、当事

しゃ はんだんのうりよく いしゃ しんらい  
者の判断能力があり医師との信頼



かんけい かた おう いた はっせい ばあい かんじゃじしん お  
関係がある方に応じては、痛みを発生した場合、患者自身がボタンを押せば

じどうてき ちゅうにゅう いりょう かた くに おう  
自動的にステロイドの注入ができるシステムになっているので、医療のあり方も国に

こと おも  
じて異なってくるのだと思いました。

わたし まやくかんじゃ ひと おお こと やくぶつかんけい  
それと、私は麻薬患者ですという人が多くいるという事でした。これは薬物関係の

そだ ほうてき はん す ほうりついはん  
マリファナを育てることは法的に反しないのでO.K.ですが、吸うことは法律違反となってい

につぼん そだ こと ちが へん おも げんてん  
て、日本では育てる事もできないので、この違いは変かなと思います。まず、原点の

もと そだ きんし ほうりつ きせい さだ かた よ おも  
基の育てることから禁止し、法律で規制し定めた方が良いと思います。

こうえんかい じぶん き こと ほんにん ものごと とら にちじょうせいかつ  
この講演会で自分が気づいた事は、本人のニーズで物事を捉え、日常生活

おこな こと たいせつ おも  
を行うという事が大切ではないかと思いました。

## 土の宿 月見会in伊江島

こち つめ かぜ おきなわ  
11月となり、心地よい冷たい風が沖縄

ほんとうほくが ふ き こんげつ  
本島北部にも吹いて来ました。今月は

じゅうごや にち く ちか じぎょう  
十五夜が17日に来るので、近くの事業

しょかんけいしゃ つきみかい こと  
所関係者で月見会をやるという事



いえじま ど やど おこな こと もち たが  
で、伊江島の土の宿で行う事になりました。そこで、餅つきとバーベキューをしながら、互い

しんぼく ふか まんげつ み かた あ  
の親睦が深まっていけるように満月を見ながら語り明かしました。

はじ もち なか かぜ わか しら  
初めての餅つきをやる中で、どうい風によればいいのか解らずネットで調べたりしながら

おこな もち おと おも い おと もち  
行いました。餅をついている音は思わず「よいしょ！」と言いたくなる音でした。餅をつく

ひと かえ ひと て いき あ ち  
人と返す人のコンビネーションがないと手がはさまれるので、よっぽど息が合っていないと血まみれ

もち た はめ おも  
の餅を食べる羽目になるなと思いました)。

あと よきょう (はな)  
この後、余興などもあり、フラダンスや、「花」

うた こじん さくしきつきよく うた  
の唄や、個人で作詞作曲をした唄など、コ  
ラボレーションもありました。

また、この場からいい出会いがあるように LED

ゆびわ きぞう  
ライトがつく指輪のプレゼントの奇贈がありまし  
た。



いえじま ふくしかんけいきかん かた たすうき しょう しゃ せいかつ  
伊江島の福祉関係機関の方も多数来てくれました。障がい者の生活の

じょうきょう かた あ なか こんご かつどう れんけい ふか つきみ  
状況などについて語り合う中で、今後の活動や連携を深めていけるような月見

かい ひら でき  
会を開くことが出来ました。

ほんとう たの  
本当に楽しかったです。